

授業科目名[英語名]

経営哲学[Management Philosophy]

担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]

奥 健一郎[099-285-8329]

| | | | | | | | |
|--------|----------------------------|-----------|--------|-----|--------|-----|-----|
| E-Mail | koku@eng.kagoshima-u.ac.jp | 受講対象 | 全 | | | | |
| 課程区分 | 共通教育 | 学科/科目・分野等 | 教養 1分野 | 開講期 | 後期水曜 2 | 単位等 | 2.0 |

共同担当教員名

なし

教育目標のキーワード

専門基礎能力/視野・判断力・探求能力

学習目標(学生の達成 目標)

今、経営に求められている根本的な考え方とは何なのか？ということについて、様々な観点から講義する。昨今数多くの企業の不祥事が発生していることにつき、原因と打開策及び従業員のマネジメント等を、多種多様な経営者のスタイルを学ぶことを通じて、現代の経営のあり方を自分なりに結論づけることを学習目標とする。

会社内の部課をまとめあげていくことも経営であるので、入社後も、各々の受講生が役立つような実践的講義を行う。

授業概要(目的・内容・方法)

1. 経営フィロソフィの核心と現代的意義について講義する。
2. 京セラ・KDDI創業者の稲盛和夫氏をとりあげ、そのマネジメントの特色、歴史的意義、背景等について講義する。
3. 経営哲学から見た日本型経営の特色と、その発展のあり方・可能性等について、様々な経営者のケースを取り上げて、多角的視点から講義する。

取り上げる経営者は、以下を予定している。

- ・松下幸之助
- ・盛田昭夫
- ・井深大
- ・佐治敬三
- ・塚本幸一
- ・吉田忠雄
- ・カルロスゴーン
- ・小倉昌男
- ・鈴木敏文
- ・樋口廣太郎
- ・永守重信

授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)

- 第1回 哲学とは何か？
- 第2回 経営にとって、なぜ哲学が必要なのか？ (1)
- 第3回 経営にとって、なぜ哲学が必要なのか？ (2)
- 第4回 稲盛和夫氏の経営の特色(1)
- 第5回 稲盛和夫氏の経営の特色(2)
- 第6回 稲盛和夫氏の経営の特色(3)
- 第7回 世界の経営哲学の潮流
- 第8回 企業リーダーシップのあり方 (1)
- 第9回 企業リーダーシップのあり方 (2)
- 第10回 日本型経営の特色と、その可能性
- 第11回 経営者事例研究(1)
- 第12回 経営者事例研究(2)
- 第13回 経営者事例研究(3)
- 第14回 経営者事例研究(4)
- 第15回 結び

| | | | |
|-----------|---|-----|--|
| 受講要件 | なし | | |
| 評価基準および方法 | 授業中の小テストと試験で総合的に成績評価をする。授業中の小テスト5割、試験5割が大まかな目安。 | | |
| 教科書 | 参考書と資料配付を教科書的に利用。 | 参考書 | 企業変革力 (ジョン・P・コッター著・日経BP刊) 生き方(稲盛和夫著 サンマーク出版) |

授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)

講義中に指示。

その他